

■ 新駅附帯施設について

1 附帯施設[※]設置スペースについて

新駅に必要な機能を有する**附帯施設**を設置するため、駅舎の整備主体である鉄道・運輸機構との協議により、**新幹線高架下に附帯施設を設置する空間を 500 m²程度確保**しております。(参考資料 3-2)

※附帯施設；駅施設以外の施設（例：観光案内所、コインロッカー、物販施設など）

2 駅附帯施設の基本設計業務について

駅舎設計は令和 4 年 10 月から進められており、小樽市では令和 5 年度の作業として鉄道・運輸機構の駅舎設計を受託している(株)JR 東日本建築設計（以下、「JRE 設計」という。）へ駅附帯施設の基本設計を委託しております。

現在、駅舎設計と整合を図りながら駅附帯施設の**建築構造の検討**、**駅附帯施設の配置**を検討しており、配置等が決定した後は平面図等の各種図面の作成、電気設備・機械設備等の施設計画を進めていくこととなります。

3 駅附帯施設のレイアウト検討について

令和 4 年 10 月 7 日に開催された第 9 回北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会にて小樽市が作成した原案（参考資料 3-3）を踏まえ、現在、JRE 設計では駅舎との動線や鉄道施設と調整しながら、附帯施設の配置計画を検討しております。

- | | | |
|------------------------|---|---|
| ・参考資料 3-2 附帯施設の設置位置 | } | 第 9 回北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会
(令和 4 年 10 月 7 日開催) にて提示した資料 |
| ・参考資料 3-3 附帯施設のレイアウト原案 | | |